

件名	令和3年度 第3回 福井市障がい者自立支援協議会 居宅生活支援部会 報告書	作成日	令和4年1月28日(金)
		会場 集合：福井市ボランティアセンター +オンライン	
日時	令和4年1月28日(金) 10:00～:		
進行内容	<p>1. 強度行動障がいWT活動報告</p> <p>2. 地域住民と共助の強化に向けた繋がりについて</p>		
協議事項	<p>・進行</p> <p>1. 強度行動障がいWTについて、資料2を基に報告</p> <p>・令和4年2月28日に第2回強度行動障害支援者学習・交流会開催を企画。</p> <p><b>【意見・協議など】</b></p> <p>・交流会、学習会は得られるものがあるため、継続できると良い。</p> <p>・グループワークの時間について、意見として多いのであれば時間配分の検討をした方が良かったと感じた。</p> <p>・相談ミーティングにて、基幹相談から強度行動障害の課題提起している。学び、支援者のスキルアップが課題として挙がっている。継続してほしい。</p> <p>・手をつなぐ育成会の会員に強度行動障害がある方は参加されていない。分からないがゆえに、勉強のため企画に出席して学びたいと思うが、強度行動障害が分からないためグループワークへの参加はできないなど感じる。</p> <p>・障がい福祉サービスを利用していても、本人が出て行ってしまう事例があると聞いている。集団にいられない方の支援について質問がある。</p> <p>→詳細が分からないため返答できないが、その人に合わせた環境を整えることが大事。個別で返答。</p> <p>・病院で強度行動障害がある方との関わりはない。学ぶ機会は大事であり、理解していく上で基本が大事。講習会への参加を考えたい。</p> <p>2. 地域住民と共助の強化に向けた繋がりについて</p> <p>①福井市で把握できている現状説明</p> <p>・福井市が避難支援対象と考えている14,227人中、7,531人が申請しており、約半数が登録している。7,531人中、障がい者の割合は約2,900人。対象者は障がい福祉課の窓口で申請時などに案内している。実施主体は危機管理課。申請窓口は介護保険課、地域包括ケア推進課、障がい福祉課など。</p> <p>・対象者については確認。パンフレット記載の対象者以外に、避難に支援が必要と自分で考えた方は個別ケースで名簿に載せることができるため、広く福井市民に周知してもらえば良いと返答あり。</p> <p>・想定される課題として、避難支援プランの制度を知らない。また知る機会がない。障がい当事者や家族が地域住民に障がいがあることを知られたくないことから申請をしない可能性がある。</p>		
協議事項			

## ②民生委員向け勉強会開催について報告

### 【意見・協議など】

- ・コロナ禍で会合などの交流が中止、延期になり人との交流が希薄になっている。人によっては学んだことを自分の中に止めてしまうような傾向にあるように感じている。地域ぐるみで行う避難訓練をする時に、民生委員をされている方が参加していないこともある。自助を優先し、困っている人のことを後回しになっている。今こそ交流会、話し合いの場が大事になってくるのではないかと感じている。
- ・地区によるのかもしれないが、障がい者の名簿が回ってきていない。自身の協議会においては、障がい者施設見学、高齢者関係の研修も実施している。民生委員としてはどうしても高齢者の相談が主になる。理由としては、障がいがある方の自宅訪問は嫌がられることが多い。防災訓練については、各地区で防災組織があり、民生委員が主ではない。東日本大震災で民生委員が多数の方が亡くなっている。自分の命を第一に考えることと連絡があった。民生委員はボランティアに近いイメージを持ってもらいたい。
- ・自治会に障がいに関わる事項はない。民生委員は公民館単位で配置されているのか。  
→民生委員は100件から300件の間で1名の配置。公民館とは関係ない。公民館とは福祉委員と繋がりがあのではないか。  
福祉委員は公民館、民生委員と繋がっており、両輪のイメージを持ってもらいたい。
- ・避難支援プランへの同意された方限定。自治会長、公民館、民生委員は名簿を持っている。避難支援プランの対象について、同意を得た7500人中プラン作成は2割程度。次年度に向けて、優先度が高い人のプラン作成を100パーセントにするよう国から示されている。プラン作成を地域や専門職へ協力依頼が出てくる見込み。基準は自治体で検討中。避難支援プラン作成実施主体が不明瞭で避難支援プラン作成に課題あり。コーディネートできる人材が必要。社協で人材育成を次年度から始めていく予定。すぐに人材が育つことは考えにくい。地道な取り組みの継続が必要と考える。次年度、福井市から何かしらの発信があると思われる。
- ・民生委員を始めとした、地域住民との連携について考えていきたい。各地区で障がいの勉強会を行うなど、障がい理解の促進を進めていってもらいたい。
- ・普段の関わりから周知していくことが大事と感じた。避難訓練など相談支援専門員も含めて周知していくなど、取り組みができないか。
- ・現在の拠点に移動して7年経ち、先日初めて民生委員と接点を持った。民生委員に事業が認知されており、確認すると事業所の催しでチラシを配ったことに効果があることが分かった。事業所からも地域に発信していくことで、事業所も根付き、地域理解の促進にも繋がると感じる。

### 3. その他の協議事項

- ・次年度に取り組む課題について、第4回部会で協議に向けて意見出し。
- ・全体の底上げも大事だが、個別案件の協議が深められると良いと考える。
- ・障がいがある方の地域生活における課題解決する場であるが、担い手不足、支援に関わる

	<p>人を確保していくかを考えたい。</p> <p>4. 連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活支援拠点事業について、次年度から面的整備としてサービス事業所の登録としていく予定。協議会に意見を求めたい。福井市で動画作成した。限定配信であり、URL から見ていただきたい。後日連絡する。事業所運営においては、緊急時の短期入所は加算が大きいため、登録を前向きに考えてもらいたい。</li> </ul> <p>→2月17日の全体会に諮る予定。</p>
協議結果	<p>協議事項1 <u>強度行動障がい児者の支援</u> についての決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年2月28日（月）第2回強度行動障害支援 学習・交流会開催</li> </ul> <p>協議事項2 <u>共助に向けた地域のつながり強化</u> についての決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所属組織で避難支援同意書の周知を図る。</li> </ul>
次回	<p>令和4年3月（予定）</p> <p>（場所）感染状況を踏まえて決定する。</p>